PONGBOT OMNI PRO ｜ 01 初期設定・内蔵プログラム

コンビニエンス卓球「T-Labo.」ご利用ガイド



① 本体の電源を入れる

・本体裏側の電源スイッチを ON にします。

・操作端末（リモコン）と本体が自動で接続されます。



② 利き手を確認する

・メイン画面上部の「設定」から、利き手の設定を確認します。

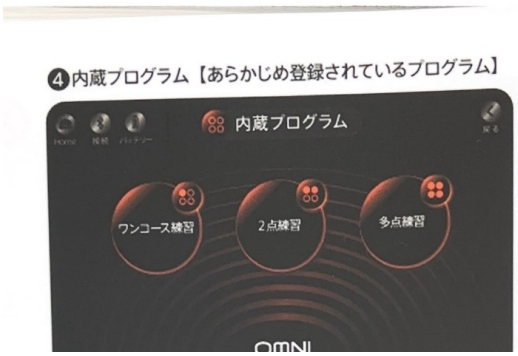
・実際の利き手と違うときは次の画面で変更してください。



③ 利き手を選択する

・設定画面で「右手」「左手」のどちらかを選びます。

・まずは内蔵プログラムで動きを確認しましょう。



④ 練習メニューの種類

・「ワンコース練習」「2 点練習」「多点練習」の基本メニューが用意されています。

・内蔵プログラムは主に下回転・上回転の練習に対応します。横回転や斜め回転を使う場合は「自作プログラム」で設定します。

PONGBOT OMNI PRO ｜ 02 メニュー選択・開始

コンビニエンス卓球「T-Labo.」ご利用ガイド



⑤ メイン画面で選択

・「内蔵プログラム」をタップします。

・例：フォアハンドのドライブ練習を設定します。

4.1.2 「ワンコース練習」をクリック



⑥ ワンコース練習を選ぶ

・「ワンコース練習」を選択します。

・2 点練習・多点練習も同様に進められます。

4.1.3 「フォアハンドテクニック」の「ドライブ」をクリック

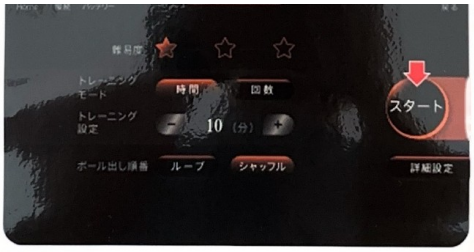


⑦ フォアハンド → ドライブ

・フォアハンドの「ドライブ」を選びます。

・フォアドライブ練習は、フォア側へ上回転のボールが出る設定例です。

4.1.4 「スタート」をクリック



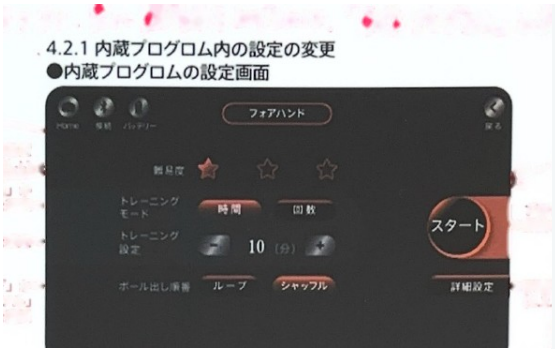
⑧ スタートする

・「スタート」をタップすると球出しが始まります。

・「ストップ」で一時停止し、必要に応じて設定を変更できます。

PONGBOT OMNI PRO ｜ 03 調整と自作プログラム

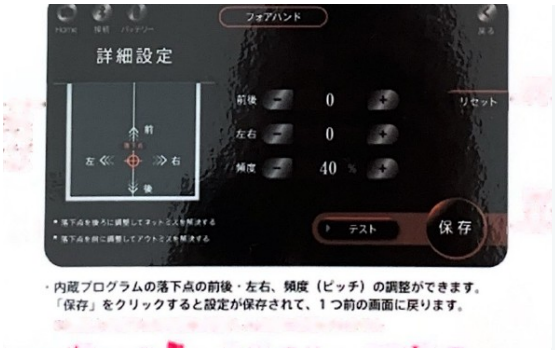
コンビニエンス卓球「T-Labo.」ご利用ガイド



⑨ 基本設定を調整する

・球出し間隔・回転・球種などを調整します。間隔を短くするとテンポが速くなります。

・球をより高く、奥に出す場合は、球出しの長さ・角度などを調整してください。



⑩ 球の位置を細かく調整

・「詳細設定」でボールの前後・左右・高さ（ピッチ）などを調整できます。

・出球の位置を少しずつ変え、目的のコース・深さに合わせましょう。

・「テスト」で試し打ちし、「保存」で調整内容を反映します。

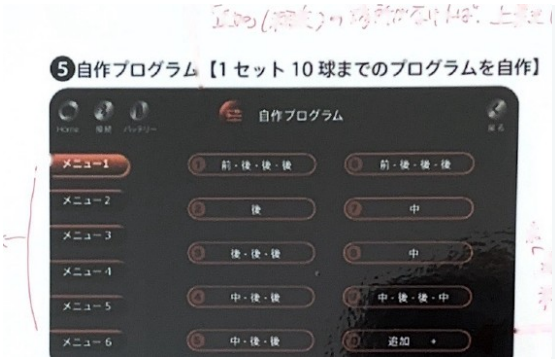


⑪ 練習中の設定変更

・球出し中も速度・左右方向・球の深さなどを調整できます。

・「ストップ」で止めてから設定を見直すこともできます。

・一時停止後は再度「スタート」で練習を再開します。



⑫ 自作プログラム一覧

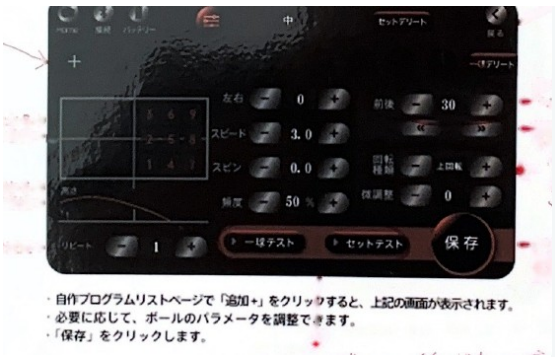
・好きな球種・コースを組み合わせる練習には「自作プログラム」を使います。

・1セット最大10球。6つのメニュー×10組で、最大60組まで登可能です。

・各メニューから目的に合ったプログラムを選べます。

PONGBOT OMNI PRO ｜ 04 自作プログラムの作成・実行

コンビニエンス卓球「T-Labo.」ご利用ガイド

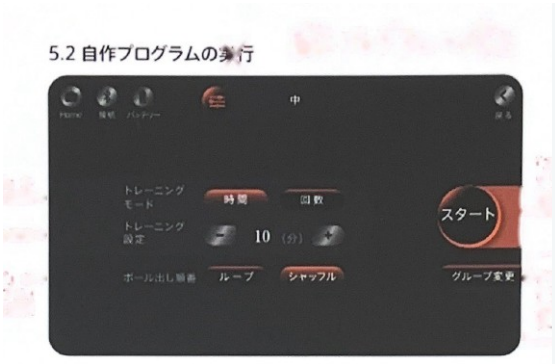


⑬ 新しい自作メニューを作る

・「追加（＋）」から球出しパターンを登録します。

・球の位置・回転・速度・間隔などを設定し、必要に応じて球を複数組み合わせます。

・設定を確認して「保存」を押します。登録したメニューは後から修正できます。



⑭ 保存したメニューを実行

・自作プログラムの実行画面で「スタート」を押します。

・「グループ変更」で自作プログラム一覧に戻り、別メニューを選べます。

・球出し間隔・ループ・シャッフルなども選択できます。



⑮ 練習中の調整・停止

・練習中も球速・回転・コース・深さを調整可能です。

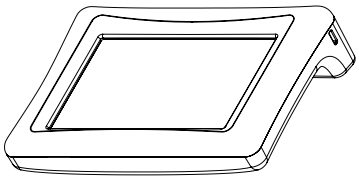
・「ストップ」で一時停止し、必要ならプログラムを切り替えます。

ご利用時のお願い　マシンの首振り部分を手で無理に動かさないでください。練習終了後は球出しを停止し、ボールを片付けてください。不具合がある場合は無理に操作せず店舗の案内をご確認ください。

Pongbot E タッチ Bluetooth スマートスクリーン

E-PAD ユーザーガイド

Model ： OMNI 版
Version ： V1.0 **(JP)**



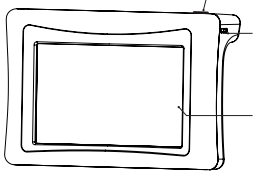
PONGBOT

使用中に困ったことがあれば、下記、お問い合わせ先へご連絡ください。

株式会社ドクターヤン
お問い合わせ先：dryang2021@163.com
WEB サイト：doctoryang.jp

製品情報

❶ E-PAD



❷ USB 電源

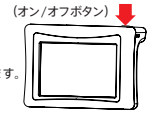


製品パラメータ

仕様	詳細パラメータ
スクリーン	5.0 インチ、静電容量式タッチスクリーン 139.6×69.7 ㎜
解像度	800×480DPI
リチウム電池容量	2100mAh
充電ポータル	USB タイプ C
通信	Bluetooth Low Energy/BLE5.0 規格

クイックセットアップ

電源ボタン
（オン/オフボタン）



① E-PAD デバイスの電源を入れます
電源オン：画面が点灯するまで電源ボタンを短く押します。

●ホームページ



② 各種設定の変更
言語（日本語または中文）を切り替える必要がある場合は、
E-PAD ホームページの「設定」をクリックして、希望の言語を選択します。



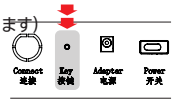
●設定ページ画面



言語の変更
利き手の変更
画面の自動消灯
時間の変更
音声の有無の変更
プログラム全体の
ボールの落下点に
影響を与えます

③ E-PAD をロボット本体に接続
ペアリングは一回だけ行う必要があります。ペアリングが成功すると、
今後使用する際は、ペリングは必要ありません

3.1「キーボタン」（ロボットの電源の横にあります）を 2 回続けて押し、ロボットが起動するのを待ちます。



3.2 E-PAD ホームページの「接続」をクリックして接続ページに入り、画面右手の「接続」をクリックし、E-PAD のペアリングモードに入る



●接続ページ画面 (接続前)

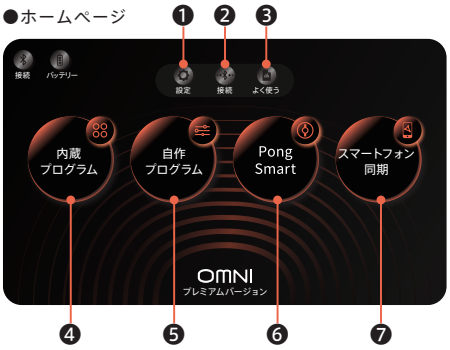


●接続ページ画面（接続後）



各種メニュー説明

●ホームページ



!ご注意　基本的に各種設定はオートセーブ（自動保存）をします。

❶設定ページ【各種設定を行います】



●言語・・・・(中文 / 日本語の切り替え)
●利き手・・・(右手 / 左手の切り替え)
●スリープ・・・(画面自動ロック時間設定：【1～10 分】)
●音声案内・・・(オン / オフの切り替え)
●補正機能・・・(ドロップポイントの構成：【-10 ～ +10】)
※遠くと近く・左右の調整・すべての内蔵ボールに適用

❷接続ページ【E-PAD と本体を接続します】



リモコンとロボットのペアリングをするページ（BLE 接続）
※出荷時点で、接続設定がなされています
※上記イラストは未接続の画面イメージです

❸よく使うページ【代表的な練習メニュー】



利便性の高いプログラムをあらかじめ設定しています。
各プログラムにて、「詳細設定」での調整が可能です。

5 6

7 8

❹内蔵プログラム【あらかじめ登録されているプログラム】



ワンコース練習、2 点練習、多点練習、それぞれの内蔵プラグラムがあらかじめ設定されており、「詳細設定」にて、調整と設定の保存が可能。

(例) サーブ：内蔵プログラム～フォアハンドドライブ

4.1.1 「内蔵プログラム」をクリックします

●メインページ画面



4.1.2 「ワンコース練習」をクリック



4.1.3 「フォアハンドテクニック」の「ドライブ」をクリック



4.1.4 「スタート」をクリック



4.2.1 内蔵プログロム内の設定の変更

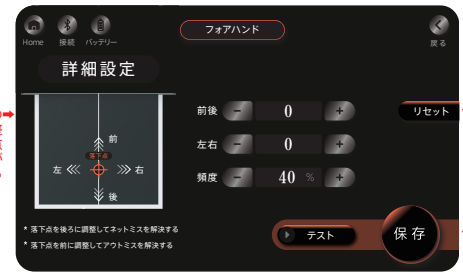
●内蔵プログロムの設定画面



●難易度のレベルの選択：★１～３の３段回
●トレーニングモード：「時間」または「回数」を設定
●トレーニング設定：「時間」は分単位、「回数」はセット数にて設定
●ボール出し順番「ループ」または「シャッフル」を選択

4.2.2 内蔵プログラムの詳細設定

●内蔵プログラム詳細設定画面



・内蔵プログラムの落下点の前後・左右、頻度（ピッチ）の調整ができます。
「保存」をクリックすると設定が保存されて、１つ前の画面に戻ります。
※画面上の落下点の位置は調整した数値に影響されません

4.2.3 内蔵プログラム実行中

●内蔵プログラム実行中画面



トレーニング開始後、プログラムが実行中でも難易度、落下点の前後・左右、頻度（ピッチ）をリアルタイムに調整することができます。
※ロボットは一旦停止した後に、新しい設定で動き出します

❺自作プログラム【1 セット 10 球までのプログラムを自作】



最大 60 個の自作編集のプログラムをサポート (6 メニュー ×10=60)

5.1 自作プログラムを追加する

●自作プログラム画面



・自作プログラムリストページで「追加+」をクリックすると、上記の画面が表示されます。
・必要に応じて、ボールのパラメータを調整できます。
・「保存」をクリックします。

5.2 自作プログラムの実行



5.1 で自作プログラムを「保存」をクリックすると上記の画面になります。
「スタート」をクリックするとプログラムを実行します。
「グループ変更」をクリックすれば再度、プログラムの内容を修正できます。

5.3 自作プログラム訓練中



トレーニング開始後、トレーニング中でも落下点の前後・左右、頻度（ピッチ）をリアルタイムに調整することができます。

❻Pong Smart のページ

● Pong smart のメニュー画面



任意の「メニュー」をクリックしてリストを表示する

右側の 10 個のリストから任意のプログラムをクリックする

既に作られたプログラムをクリックした際は 6.3 へ

「追加 +」をクリックした場合は 6.1 へ

最大 6 0 個の組み合わせをサポート。
新規でプログラムを作成するときは「追加 +」をクリック。
プログラムの作成を行う画面に切り替わります。
（修正したいプログラムはそのプログラムをクリックしてください）

6.1 Pong Smart のプログラムを作成

● Pong Smart プログラム作成画面



＋をクリックして新しい 1 球を追加修正したい球を選択

右手のラインがネットを表現

1 ～ 9 の任意の位置を選択して、ボールの落下点を設定する

こちら側がエンドライン側

選択中の 1 球分のプログラムの削除

頻度でピッチを変更

設定した内容をクリックして保存する

・「追加 +」をクリック後、このインターフェースに入ります。
・1 球分のボールのパラメータを 1 つ 1 つ調整します。

6.2 エリアのランダムコースの選択

● ランダムコース設定画面



前陣・中陣・後陣の中から 1 エリア選ぶ

画面下部左手の「ランダムコース」を選択すると、上記のように、「前陣」「中陣」「後陣」の中から選択したコートエリア内にランダムなボールを設定できます。

6.3 Pong Smart のプログラムの編集

● Pong Smart スタート画面



「時間」か「回数」を選択

数値を設定

「ループ」か「シャッフル」を選択

プログラム修正画面へ（6.1）

必要に応じて、「グループ変更」を選択して、このプログラムの設定を調整または修正をします。

❼スマートフォン同期（この機能は中国でのみ利用可能です）

● スマートフォン同期画面

